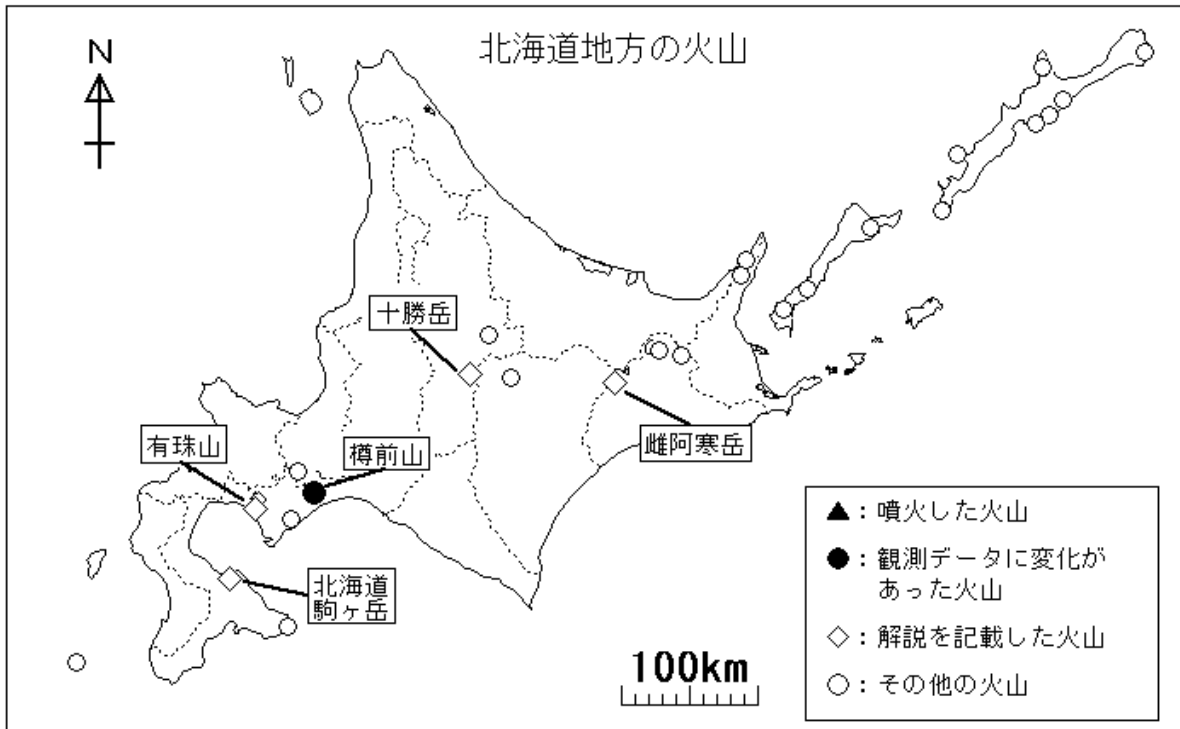


北海道地方の火山活動解説資料(平成 14 年 4 月)

札幌管区气象台
火山監視・情報センター



雌阿寒岳：今期間は静穏に経過しましたが、長期的に見ると時々地震が増加し火口の温度は高温を維持するなど火山活動は高いレベルが続いています。

十勝岳：地震の増加や火山性微動はなく静穏に経過しました。62-2 火口では活発な噴煙活動が続いています。

樽前山：4月27日から29日にかけてドーム南西噴気孔群の噴気活動が活発化し、夜間、高感度カメラで噴気孔群付近が明るく見える現象を観測しました。今期間顕著な地震増加は見られませんでした。ここ数年地震活動は活発な状態が続いています。

有珠山：火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳：地震の増加や火山性微動はなく静穏に経過しました。噴煙活動も弱く地殻変動にも特別な変化は認められませんが、1996年以降小噴火を繰り返していることから引き続き火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

次回、5月の火山活動解説資料は6月7日に公表します。
(札幌管区气象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>)